

○医師が記入した意見書が望ましい感染症

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
インフルエンザ	症状がある期間(発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い)	発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	発症 2 日前から発症後 7~10 日間はウイルスを排出していると言われている。特に発症後、5 日間は他人に感染させるリスクが高いことから注意が必要)	発症した後 5 日を経過し、かつ症状が軽快後 1 日を経過するまで ※発症日の翌日を 1 日目とする ※症状軽快とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ呼吸器症状(咳や息苦しさ等)が改善傾向にある状態であること
麻疹(はしか)	発症 1 日目から発しん出現後の 4 日後くらいまで	解熱後 3 日を経過してから
風しん	発しん出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現 1~2 日前から痂皮形成してから	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過するまで かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染のおそれがないと認めるまで
咽頭結膜炎(プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え、2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまでまたは 5 日間の適切な抗菌薬物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症(O157. O26. O111)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1~2 週間、便から数週間~数カ月排出される	医師により感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認められるまで

※保育所は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐため、上記の感染症については医師が記入した意見書の提出をお願いします。

また、子どもの健康回復状態が集団での保育所生活が可能となる状態となってから登園していただくようご配慮ください。